

竹林放牧によりタケノコ発筍本数が激減

平成18年度から実施していた肉用繁殖雌牛の皆伐竹林への放牧試験では、放牧牛のタケノコ採食により、通常型のタケノコは年々発筍本数が減少して3年目では約4分の1になり、直径2cm以下の細型のタケノコでは2年目まで増減がなかったものの3年目には約5分の1に減少するなど、放牧牛の採食によるタケノコの生長抑制効果が認められました。

採食率は、通常型では急傾斜地のタケノコが採食されなかったため、放牧3年目に69.6%と低下しましたが、細型は昨年、一昨年と同様に、98.0%と高率で推移し、放牧による竹林の拡大防止に効果があると考えられます。



放牧により竹の生長が抑制された試験地(写真中央部の開けた場所が皆伐し3年目の竹林:写真内○印)

(試験地:綾部市鍛冶屋町)

発筍本数、採食本数、折損、枯死等本数、採食率 (本/10a、%)

	発筍本数		採食本数		折損・枯死等		採食率	
	通常型	細型	通常型	細型	通常型	細型	通常型	細型
H18	302.5	2502.5	277.5	2155.0	17.5	302.5	97.4	98.0
H19	160.0	2455.0	137.5	2325.0	20.0	112.5	98.2	99.3
H20	77.5	547.5	40.0	480.0	20.0	57.5	69.6	98.0

※ 採食率=採食本数÷(発筍本数-折損・枯死等)×100